

8 にんにくにおける優良種苗や効率的な生産方式の導入（経営面積:70a→230a）

前提（新規就農タイプ）



にんにく、ピーマンで新規参入した生産者が、経営開始資金等受給終了後（就農後3～5年経過）、にんにくの優良種苗の全面導入や作付拡大等により所得の向上を図ります。

現状



経営内容

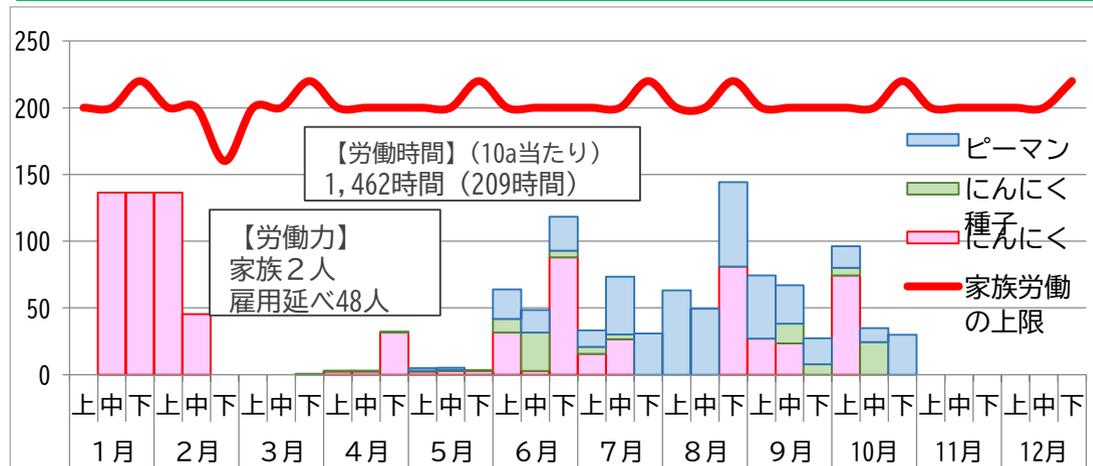
品目構成	にんにく、ピーマン
経営規模	にんにく 60a(種含む) ピーマン 10a
販売単収	にんにく 606kg/10a ピーマン 4,468kg/10a
販売単価	にんにく 1,502円/kg ピーマン 366円/kg
主な資本装備	トラクター(40ps)、ブロードキャスター、マルチャー、動力噴霧機、にんにくハーベスタ、運搬車、フォークリフト、にんにく乾燥機セット、盤茎部調整機 等

※現状の規模・販売収量等は就農後3～5年を経過した新規就農者のうち、経営的に中庸な者13名の平均値を参考（県調べ）

経営収支

粗収益	5,731千円
経営費	3,946千円
所得(所得率)	1,785千円 (31.2%)

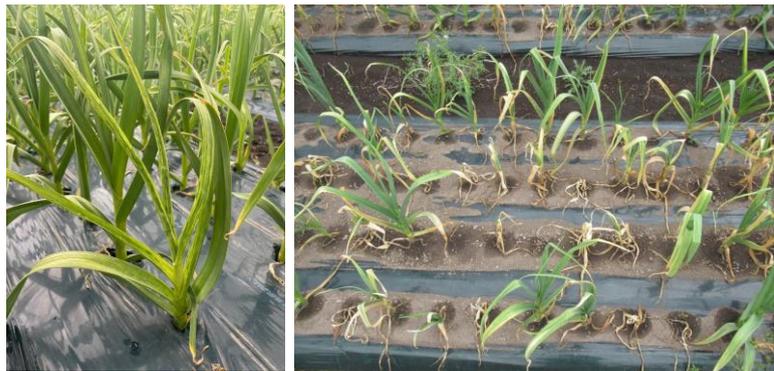
労働時間



問題点



- ウイルス病やイモグサレセンチュウへの感染による減収



ウイルス病への感染株

イモグサレセンチュウの被害ほ場

- 気象変動による生育の変化や病害虫の発生消長の変化により生産が不安定
- 主要作業(植付け、収穫)時の雇用労働力の減少と高齢化

プログラムのポイント



- **優良種苗**の全面導入
→JA等から優良種苗を購入・増殖し、健全な種苗を販売用に利用して、大玉生産を図ります。
- **栽培技術力**の向上等
→緑肥を活用した土づくり、植付け、防除、収穫、乾燥等、一連の基本技術を適期、適正に実践し、大玉生産を図ります。
- **省力機械**の導入
→植付けにはにんにく植付機、防除にはハイクリブーム、収穫には1条掘り収穫機を導入し、最低限の雇用で規模拡大を図ります。



乗用 にんにく 植付機



1条掘り にんにく 収穫機

導入する技術等



優良種苗の導入

効果	経営収支（経営面積70a）		
	項目	現状	導入後
販売単収が9%程度増加します。 606kg/10a→661kg/10a(55kg/10a増)	粗収益	5,731千円	6,415千円
大玉生産により販売単価が7%程度上昇します。 1,502円/kg→1,607円/kg(105円/kg増)	経営費	3,946千円	4,372千円
	所得 (所得率)	1,785千円 (31.2%)	2,043千円 (31.9%)

基本技術の実践

効果	経営収支（経営面積70a）		
	項目	現状	導入後
販売単収が5%程度増加します。 606kg/10a→636kg/10a(30kg/10a増)	粗収益	5,731千円	6,063千円
大玉生産により販売単価が3%程度上昇します。 1,502円/kg→1,547円/kg(45円/kg増)	経営費	3,946千円	4,065千円
	所得 (所得率)	1,785千円 (31.2%)	1,998千円 (33.0%)



省力機械の導入

効果

<乗用にんにく植付機>

植付けに要する作業時間が80%削減されます。

2人で15h/10a → 2人で3h/10a (12h/10a減少)

<乗用管理機>

防除に要する作業時間が45%削減されます。

4.4h/10a → 2.4h/10a (2h/10a減少)

<1条掘り収穫機>

収穫に要する作業時間が69%削減され、雇員人数も4人削減できます。

13h/10a → 4h/10a (7h/10a減少)

5人 → 1人 (4人削減)

経営収支 (経営面積70a)

項目	現状	導入後
粗収益	5,731千円	5,731千円
経営費	3,946千円	3,680千円
所得 (所得率)	1,785千円 (31.2%)	2,051千円 (35.8%)

雇用費が削減され、労働力にゆとりが生じるため、にんにくの作付拡大が可能となります。

現状60a(種含む) → 導入後160a(種含む)



作付面積の拡大

効果

にんにくの総出荷量が270%程度増加します。

2,727kg→7,272kg(4,545kg増)

経営収支（経営面積70a→170a）

項目	現状	導入後
粗収益	5,731千円	12,558千円
経営費	3,946千円	8,858千円
所得 (所得率)	1,785千円 (31.2%)	3,700千円 (29.5%)

※現状は、
にんにく60a（種含む）＋ピーマン10a
改善後は、
にんにく160a（種含む）＋ピーマン10a
（緑肥の60aは含まない）

導入後の姿（全ての技術導入時）



経営内容

項目	現状		導入後	増減
品目	にんにく, ピーマン	》》》	にんにく, ピーマン, 緑肥	—
経営面積	70a (にんにく60a, ピーマン10a)	》》》	230a (にんにく160a, ピーマン10a, 緑肥60a)	160a増加
販売収量	にんにく 606kg/10a ピーマン 4,468kg/10a	》》》	にんにく 691kg/10a ピーマン 4,468kg/10a	85kg/10a増加 ±0kg/10a
販売単価	にんにく 1,502円/kg ピーマン 366円/kg	》》》	にんにく 1,652円/kg ピーマン 366円/kg	150円/kg上昇 ±0円/kg

経営収支

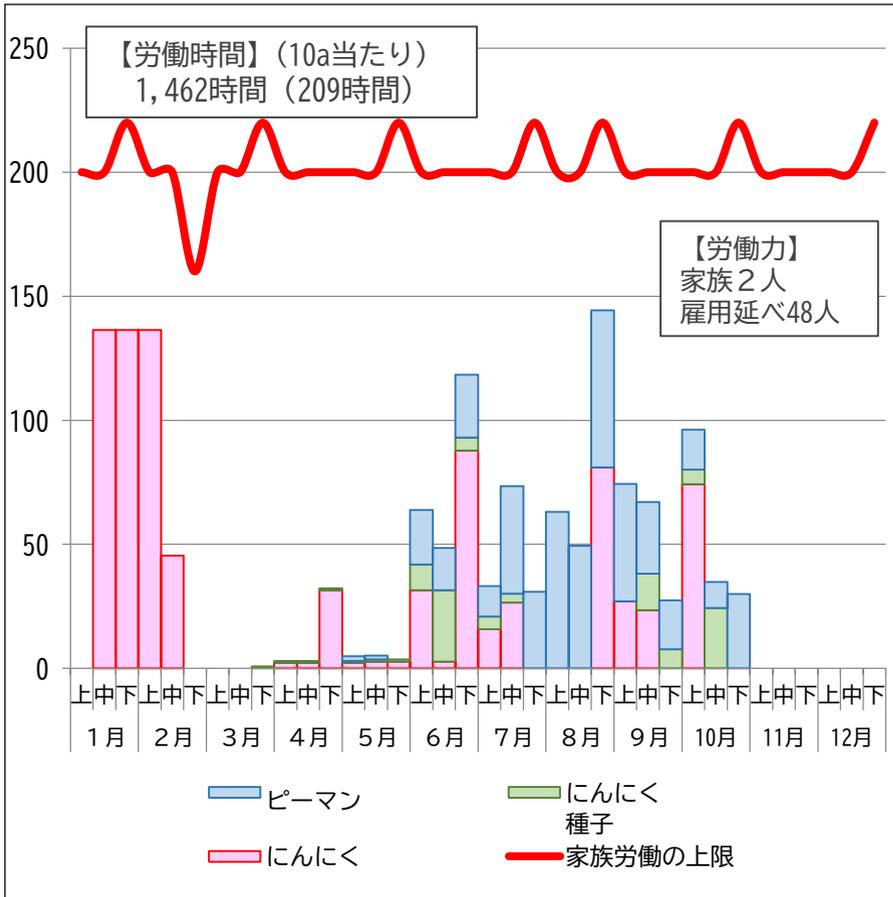
項目	現状		導入後	増減
粗収益	5,731千円	》》》	15,333千円	9,602千円増加
経営費	3,946千円	》》》	9,671千円	5,725千円増加
所得 (所得率) 【経営面積当たり】	1,785千円 (31.2%)	》》》	5,662千円 (36.9%)	3,877千円増加 (5.7%増加)
所得 【10a当たり】	223千円	》》》	333千円 (緑肥60aは除く)	110千円増加

導入後の姿（全ての技術導入時）

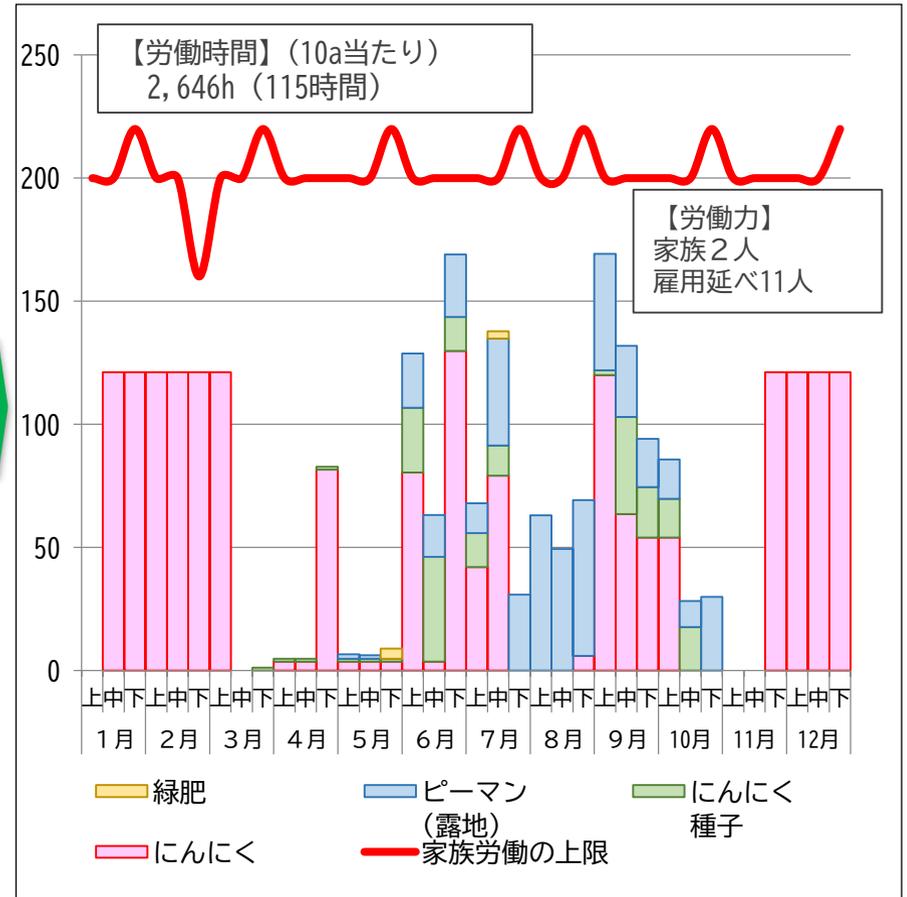


労働力・労働時間

現状



導入後



作付面積の拡大により労働時間が1,184時間増加しますが、省力機械の導入により10aあたりでは94時間減少します

導入後の姿（全ての技術導入時）



資本装備

現状	追加投資	
	導入する機械	負担区分
トラクター(40ps) ホイルローダー ブロードキャスター マルチャー 動力噴霧機 パワーハーベスタ 運搬車 フォークリフト 温風暖房機セット 盤茎部調整機 等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乗用にんにく植付機 2,140千円 ・ 乗用管理機 3,389千円 ・ にんにく1条掘り収穫機 2,680千円 ・ にんにく乾燥機セット 1,590千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総事業費 9,799千円 ・ 補助金(1/2補助) 4,899千円 ・ 自己負担 4,900千円